

住民合意にむけて「住民投票」や「アンケート」の実施が取りざたされています。いずれであっても実施の大前提として「メリット」「デメリット」「循環型社会への取組み」「村づくりの方針」等々、はっきりと住民が分かるようにしないといけないね！

北アルプス広域連合の計画より「より安全で安く」ゴミ焼却場を作っている串本町などの例があり、コンサルタントや行政任せでなく、地域の住民が多数参加し計画を進めた成果です。

3 【観光の復興】と新ゴミ施設は関係あるヨ！

X こんなことではいつまでも、白馬村を二分している時ではありません。
もっと大切な、この村の観光産業の復興のために、私たちのエネルギーを使いましょう。

観光産業の復興を求めるなら！
このごみ問題をしっかり検討し、魅力ある村づくりを進めよう！

私たちの主張は、観光産業の立ち直りも見据えてのものです。“白馬村の魅力がいつまでも本物であり続けるよう”に、景観や環境の課題も提起しています。

分別の徹底やリサイクル・リユースを実現する中で“最小のごみ処理施設を造れば、財政負担も軽くなり観光地としてのイメージアップ”にもつながります。

急いで結論を出して後悔する ことだけは避けたいものです。

4 飯森候補地は【しっかり検討して選ばれていませんヨ！】

X えーと、すみません。漠然とどこかに造れると思っていませんか？いいえ！どこにでも簡単に造れるものではありません。飯森は、様々な要素を広域で検討して選ばれた場所です。

①基本計画検討委員会の提言を無視
「選定作業は透明性が重要。選定経過を含めて公表し、住民の理解を得ながら実施されたい。」という検討委員会松岡英子委員長の提言を無視し、行政のみで検討。これが、ゴミ問題の発端です。
しかも、非公式会議で「飯森ありき」のシナリオが練られていました！

②広域議員もカヤの外（表面2を見てネ）

③行政が選んだ場所なら最良の場所か
活断層でボーリング調査した信大：原山教授も「安全」などとは一言も言わず、「判断するのは広域連合、白馬村民の皆様」と言っています。心ある専門家は「なんであんな場所をわざわざ選んだのか」と指摘しています！

本当に飯森に建ってもいいですか？



どなたでも参加できま〜す！

10/1 (水)

**「飯森に建ってもいいの？
～白馬の未来とごみ問題の勉強会」**

日時:10/1(水) 19:00~21:00
場所:白馬村ふれあいセンター2F